

令和8年度北海道帯広柏葉高等学校（全日制）学校経営シラバス

経営方針

- 【協働体制】教職員一人一人の力が組織として働き、協働意欲に満ちた活力ある学校づくりに努める。
- 【授業改善】ICTの活用や適切な授業評価など、学習の質を高める授業改善に努める。
- 【資質向上】絶えず自己研鑽に励み、専門性を高め、質の高い教育活動を実現する。
- 【地域連携】保護者・地域からの信頼と支援に応える積極的な連携強化に努める。
- 【進路実現】生徒のより良い自己実現を目指し、キャリア教育を充実させる。
- 【教育相談】生徒が抱える悩みに寄り添い、適切な教育相談に努める。

重点目標

多様性への対応と共通性の確保を踏まえ、本校教育の質の維持・向上を図る。
～探究活動・ICT活用の推進～

教育活動

領域	中間目標	今年度目標	評価の観点
学習指導	主体的に学ぶ態度と確かな学力の育成（個別最適な学びと協働的な学びの推進）	<ul style="list-style-type: none"> ◆学力向上に向けた授業改善 ◆適切な評価の実質化 ◆探究活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆個に応じた指導を工夫し、ICTの活用など、学習の質を高める授業改善に努める。 ◆観点別評価を適切に実施する中で、生徒の学習意欲を高め学力向上に資する。 ◆地域と連携した体験的な学習活動を通して、自ら課題を立て、情報収集・まとめ・表現する力を養う。
生徒指導	規範意識・公共の精神の醸成、より良い人間関係の構築、豊かな人間性の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆ルールの遵守、マナーやモラルの維持・向上 ◆学校行事・生徒会活動の活性 ◆部活動等課外活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自転車やスマホ利用の指導等、基本的な生活習慣確立のため教職員の共通理解のもと適切に実行する。 ◆生徒の主体的行動力、協働力等の育成のため、学校行事・生徒会活動を活性化する。 ◆部活動等、課外活動の在り方の改善に努め、全教員の協力の下取り組む。
進路指導	進路意識の高揚と実力養成による生徒の進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ◆組織的な進路業務の実施 ◆進路意識の向上 ◆大学入試動向の研究・対策 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒一人ひとりの多様な進路達成を実現できるよう、組織的に相談活動等の進路活動の充実を図る。 ◆進路便り、個別面談、外部機関と連携した進路講演会などを通して、生徒の進路意識の高揚を図る。 ◆生徒の学力向上に向けて、大学入試動向を踏まえた進学講習を実施するとともに、模擬試験を効果的に活用する。
健康安全指導	自他の生命を尊重し、他人を思いやる心や社会で生き抜く力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆個別支援体制の充実 ◆いじめ防止対策等の充実 ◆危機管理体制の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆生徒に目を配り、サポート委員会を中心に、教育相談・特別指導の支援体制の充実を図る。 ◆いじめへの対応を適切に行い、未然防止に向けた取組みの充実に努める。 ◆危機管理マニュアルに則った、非常災害時における管理体制を整える。

学校運営

領域	中間目標	今年度目標	評価の観点
地域に信頼される学校づくり	保護者や地域からの信頼度の向上	<ul style="list-style-type: none"> ◆情報発信 ◆地域連携 ◆学校評価の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆地域や保護者へHP等を通して迅速かつ適切に情報を発信する。 ◆同窓会、PTA等地域と連携した教育活動を展開する。 ◆課題の重点化を進め、学校評価により業務改善に結びつくサイクルを確立する。
組織運営	課題共有と解決のための協働訂正の確立	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務改善 ◆働き方改革への取組 ◆私費会計の適切な処理 	<ul style="list-style-type: none"> ◆業務の組織化、協働化を進め、教員一人ひとりの力が発揮できる職場環境にする。 ◆校務DXをさらに推進し、効率の良い業務に努め、時間外勤務の縮減を図る。 ◆校内規定に則った、私費会計の適切な処理を行う。
教職員の資質向上	教職員としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> ◆不祥事防止 ◆校内研修・授業研究の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修会や相互牽制等により、体罰や不祥事が起こりにくい職場環境とする。 ◆本校の課題に沿った校内研修を組織的に実施するとともに、自主的に設定した研修課題に取り組む。